

編集後記

杉谷キャンパスの皆様のご協力により、今年度も富山大学杉谷キャンパス研究活動一覧（42 輯）を刊行することができました。各講座の担当者，編集委員の先生，図書館事務部の方々に御礼申し上げます。

本年ならびに昨年には，世界・国内で大きな動きがみられました。日本国内では現天皇陛下の退位・皇太子さま即位の日程が発表され，本輯が新元号「令和」において最初の発行となります。スポーツでは，平昌冬季オリンピックにて日本選手が多くメダルを獲得しました。さらに FIFA ワールドカップ 2018（ロシア W 杯）で日本代表がベスト 16 に進出し，グランドスラムの全米および全豪オープンでは大坂なおみ選手が優勝するなど日本中が湧きました。科学界では，本庶佑先生が，免疫を抑制するタンパク質「PD-1」を発見し，がん免疫治療薬「オプジーボ」の開発につなげた功績により 2018 年のノーベル医学・生理学賞を受賞されております。杉谷キャンパスには，生物学分野の様々な研究者が集まっており，基礎研究の重要性を常々訴えておられた本庶先生が受賞されたことを非常に嬉しく思っております。大学法人の統合や運営費交付金削減など大学運営にとって不確定な要素の多いこの頃ですが，青雲の志とまでは言わないでも学究の志を抱く学生や若手研究者に希望を与え，杉谷キャンパスから第二，第三の後継者が育っていくことを願っております。

杉谷キャンパス研究活動一覧も本輯ですでに第 42 輯です。これまでに format が様々に変遷してまいりましたが，現在の format は単なる業績集でなく各種データ統計を想定し，検索しやすいようになっております。私は第 2 期中期目標期間の終了時には，文科省に提出した学部・研究科等の現況調査表（教育，および研究）の作成に携わりましたが，その際には杉谷キャンパス研究活動一覧を大いに活用させて頂きました。今後杉谷キャンパスが益々発展し，本輯の内容も益々充実することを願っております。

最後に，本 42 輯の編集に携わって頂いた田村了以先生（医学部），黒田敏先生（医学部），中野実先生（薬学部），東田道久先生（和漢研），ならびに医薬学図書館スタッフの方（市吉郁代様）の御尽力に深く御礼申し上げます。

編集委員長 西条 寿夫